

学校名 [岡田小学校]	氏名 [本郷 佳枝]
[小] 学校 [4・5・6]	年版 単元名 [災害時をくらすヒント] P 40～41
教科・領域名 [学級活動] [時間 45分]	

主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
-------------------	-------

【ねらい】

ライフラインが寸断された状況で生活するための工夫や、日頃から備えることの大切さについて理解する。

1 ライフラインが止まり苦労した経験を思い出す。

震災の時にライフラインが止まって苦労したことは何ですか。

- ・水がなくて困った。
- ・暗くて怖かった。

2 ライフラインが止まったときの工夫について考える。

水や電気・ガスが止まったときにどんな工夫ができるでしょうか。

- ・〈水〉水を多めに買って準備しておく・お風呂の水を捨てずに溜めておいてトイレなどに使う
- ・〈電気〉懐中電灯やろうそくを使う
- ・〈ガス〉非常食を準備しておく・空き缶で米を炊く

※ワークシートに記入した後、グループごとに意見交流を行った。

3 他にできる工夫について考える。

水や電気・ガス以外で、災害時に自分ができる工夫はありませんか。

- ・リュックに必要な物を準備して、いつでも持ち出せるようにしておく。
- ・寒いときには、段ボールを敷いたり、かぶったりすると暖かいよ。避難所では、段ボールでスペースを区切ったりもしていたよ。

自分だけでなく、まわりの人と声を掛け合って助け合うことも大切であることを伝えた。

〈準備物〉

副読本、ワークシート



児童から出なかったその他の工夫については、副読本を読んで確認した。

- 〈水〉紙皿にラップをまいて使用し、水を節約する・布で水をろ過してきれいにする
- 〈電気〉牛乳パックのあかり
- 〈ガス〉空き缶で米を炊くサバめし



※復興ルームに掲示してある〈サバめし〉の紹介